

大ききのじこに少し大ぶり、毛色また少しあかみ有さへづりよしのじこににたる物にてめづらし。

〔飼鳥必用〕中朝鮮野路子。

此鳥脊赤く胸も赤くして腹黄色、雛は脊の赤み薄し、雌は尾の様に少し赤羽有り、啼音は青地のさへずりに似たり、多は薩州に渡來る、太古檀香鳥とて、唐人長崎江持渡るよしにて、通詞林百助所持にて、書寫したる事あり、唐には澤山見る鳥也。

〔飼鳥必用〕下野路子。

此鳥秋渡る鳥なり、尤諸國より出る鳥也、子も所々より出なり、此鳥雛鳥にて雌雄わかりかね、茶色なるを雌といへ共、雄のひなにも茶色あり、あごの下に黒き毛あるを雌とする也、此鳥能鈴あるを賞翫す、まかし荒鳥翌年は鈴音ぬけるもまゝあり、餌飼粟にて後三分餌。

大野。子。

此鳥青地の形にて、のじこの形はなし、まゝ、上方より來る事あり、餌飼魴にて三分餌、

〔武江産物志〕山鳥類 のじこ山の手邊

〔運歩色葉集〕鳥名鶺鴒

〔本朝食鑑〕六禽鶺鴒訓比

釋名鶺鴒字書而灼切音弱、見鳥也字義未詳、

集解、鶺鴒小於雀、全體黄色、頭背頸翅交黒、羽毛黒腹黄白、聲清滑多嘖、其味苦不佳、

附錄、河原鶺鴒狀似鶺鴒、大頭背灰白、眼後微黒、背有黒斑、翅著黒、而交黄羽、腹白、聲亦相、似味微甘、不苦、俗稱河原水淺多砂石、處曰河原、此鳥常居山中水邊故名、

〔大和本草〕十五鳥ヒハ漢名未知、カラヒハハ、タデヒハヨリ小也、頰ト腹ト尾上黄ナリ、背ト翅ハ黒

黄マジレリ、背小ナリ、マヒハトモ云、粟稗食、ベニヒハ、カラヒハト大サ同ジ、形モ同頭ノ上真紅ム